

『講演会通信』 神の力による伝道

JAPAN2017EVANGELISMUPDATE

創刊号

2017年
3月

4月に行われるリバイバルとトレーニングウィーク

「聖霊の内に生きる」と題された、霊的リバイバルウィークが4月16日から22日まで持たれます。NSD牧師会長であるロン・クルーゼ先生の指導の下、今回のリバイバルウィークはクルーゼ先生が書かれた聖霊に関する2冊の著書に基づいて行われます。私たちと神との関係や、聖霊による満たしの必要、私たちの人生における聖霊の働き、聖霊に満たされる人生の条件などを学んでいきます。

リバイバルウィークは4月16日の日曜日から始まり、4月22日安息日の午前中まで行われます。期間中は毎晩天沼教会で集会が開かれ、フィールドスクール参加教会にはインターネットを通じて配信されることになっています。この配信のために新しいメディア機器が適切に設置されることが期待されています。

今回の集会はアドベンチスト教会員に向けたものですが、教会員でない方の参加も歓迎します。集会中には、美しい讃美と祈りの時間も設けます。この集会のポスターも閲覧可能です。

霊的リバイバルウィークに加え、2つのトレーニングプログラムも行われる予定です。4月15日の安息日には、NSDのリチャード・サブイン先生（教育部長・教会定着及び回復伝道担当）により、長欠者回復のためのトレーニングを行います。2つ目のプログラムは4月22日安息日に行われ、ロン・クルーゼ先生により、小グループ伝道に焦点をあてて行います。

スケジュールを調整し、特別集会へご参加頂きますよう、お願い致します。私たちが神さまに信頼し、共に働くなら、神さまはこの日本の地で素晴らしい御業をなしてくださいます。

参加教会リスト

- ・ 天沼教会 羅牧師
- ・ 千葉教会 磯部牧師
- ・ 千葉国際教会 鄭牧師
- ・ 入間川教会 柴田牧師
- ・ 石川教会 ミラー牧師
- ・ 刈谷教会 上野牧師
- ・ 沖縄国際教会 メッサン・コメジャ牧師
- ・ 大岡山教会 朴牧師
- ・ 大阪東部教会 海老原牧師
- ・ 仙台教会 眞田牧師
- ・ 摂津富田教会 柳牧師
- ・ 東海国際伝道センター教会 今雪牧師
- ・ 所沢教会 柴田牧師
- ・ 豊橋教会 上野牧師
- ・ 豊田ブラジル人教会 上野牧師
- ・ 米子教会 平本牧師

第1回伝道トレーニング

最初の伝道トレーニングは3月10日、11日に行われました。マーク・デュアート先生、山地宏先生、ロン・クルーゼ先生により、個人伝道や執り成しの祈り、祈りの行進の研修セミナーが提供されました。参加教会はインターネットを通じて参加しました。資料は教会員と共に確認できるよう、教会牧師に配布されました。

WEEK OF SPIRITUAL REVIVAL & TRAINING



Reaching the Inactive Member

Speaker/Trainer: Dr. Richard Sabuin, NSD Education Director
Sabbath, April 15, 11:00, 14:00-17:00
Amanuma Church (Suginami Amanuma 3-17-3, Tel: 03-3392-0716)



Topics

Sunday, April 16
Monday, April 17
Tuesday, April 18
Wednesday, April 19
Thursday, April 20
Friday, April 21
Sabbath, April 22

Gasping for Air, Longing for Life
The Biggest Mistake Made by Adventists
The Meaning of "Christ in Me"
How the Spirit Works in Your Life
Condition to the Spirit-Filled Life
Asking Not to Be Denied
Living the Abundant Life(11:00 Service)



Forming Mission-Minded Small Groups

Speaker/Trainer: Dr. Ron Clouzet, NSD Ministerial Secretary
Sabbath, April 22, 14:00-17:00
Amanuma Church (Suginami Amanuma 3-17-3, Tel: 03-3392-0716)



祈りの行進

Prayer-Walking People to Jesus

先週行われた伝道トレーニングの1つは、失われた者とつながるための祈りの行進に焦点をあてたものでした。祈りの行進とは何でしょうか。なぜ行うのでしょうか。どんな違いをもたらすのでしょうか。

祈りの行進とは、数名の教会員の友人と、ある地域と一緒に歩き、目に見えている人々や、目に見えていない人々のために祈ることです。祈りの行進中、道端で歩く人や、自転車に乗っている人、バスで移動中の人や、駅のホームにいる人、買い物中の人や、電話で話している人や、携帯電話を使っている人を見かけましょう。目に見えていない人々とは、歩いている地域の仕事場、レストラン、カフェ、または買い物のためにお店の中にいるであろう人々のことです。3人から5人で祈りのチームを作り、週に1回、2回、もしくは3回、30分間程、こうした人々のために祈ります。このプログラムにはある程度の期間、献身していただくことを考えています。祈りの行進チームは同じ場所で1年かそれ以上、祈りの行進を続けることを誓います。出会う人々のために御言葉の約束を求めて祈る時、神さまは、その奉仕を祝福してくださっている確証を与えてくださいます。

なぜ、このような知らない人たちのために祈るのでしょうか。それは主に2つの理由からです。1つはその地域への影響で、もう1つは祈る人自身への影響です。私

たちの周りにいる大勢の、キリストを知らない人たちのために祈れたらいいのにと、私たちはしばしば思っています。しかし、そういう人たちはなじみのない人々で、私たちは彼らの話を聞いたこともありません。悪魔は、失われたこの世の人々のために、実際に執り成しているクリスチャンはごくわずかであると見積もっています。しかし、歩きながら道端で見る人々のために祈る時、暗闇の中にいる人たちに対して敏感になります。あなたは人々に注目するようになり、彼らの幸福や将来に関心を持つようになります。人々に注目し始める時、神は執り成し手としてあなたを用いることが出来、サタンに引き下がるよう告げることができます。神は御自分の力を表すため、常にこの地で橋渡しをする人を求めておられます（歴代誌下16:9）。神は闇の中にいる人たちのための接点を求めておられます。私たちが彼らのために祈る時、私たちがその接点となるのです。

このような方法で人々のために祈ることは本当に違いをもたらすのでしょうか。その地域が長い間闇の中にたとしていたら、その地域はサタンの支配下にあります。その支配は打ち破られる必要があります。闇の中で輝く光が必要です。執り成しの祈りをする者たちにより、その希望は現実へと変えられます。エレン・ホワイトは、大勢の人々が応えを求めて天を見上げるが、神とどのようにつながった

らよいかわからずにいると述べています。そのような人々のために祈ることは、神とつながる門を開く行為なのです。また、私たちが祈らなければ決して起こらないこともあるとも述べています。

宣教師であるハドソン・テイラーが中国にいた時のことです。ある日、彼がマレーシアのタイピンにいた時、その都市にいる大勢の人々を眺めました。彼は見ている大勢の人々への伝道への働きに心細く感じていました。そこで、彼は町の城壁に向かって進み、彼がそこで見た人々のために祈り始めました。それからほどなくして、見知らぬ年老いた男性が彼に近づき、自分の罪の償いについてたずねてきたのです。驚くべきことです。ハドソン・テイラーは、その日4人の人が彼に近づいてきたと言っています。彼らのために執り成しの祈りをささげた結果です。あなたが地域のために信仰に満ちた祈りを捧げ続けるなら、神は同じようなことをなさるかもしれません。

フィールドスクール参加教会牧師に、この伝道をどのように組織して始めればいいのかについて書かれている8ページほどの資料を送りました。この伝道は簡単で楽しく、隣人にとって大きな変化をもたらし、あなたにも大きな変化をもたらすことができます。みなさんも参加してみませんか。

